

地域密着型サービスを考える in ほっかいどう 2012

日時：2012年 **3月20日** (火・祝) 13:00~17:00

会場：札幌プリンスホテル 国際館パミール6階 日高の間

参加費：無料 定員100名

○調査事業所による事例発表

「利用者さまの声から“通い・泊り・訪問”サービスを通じて」

○特別研究講演と実践指導

「日本人にとっての音楽療法を考える」

学術（音楽）博士・声楽家 藍川 由美

日本のうたの研究・歌唱の第一人者でもある藍川由美氏による音楽療法の講演。藍川氏は、音楽療法・日本のうた歌唱法『藍川メソッド』を考案。実践指導では誰にでも簡単にできる音楽健康法を体感します。

プロフィール

東京藝術大学にて声楽（ソプラノ）の分野では我が国初の博士（音楽）号を取得。

平成四年度文化庁芸術祭賞を受賞。

これまで国内外で数々のリサイタルを開催。また音楽祭、テレビ、ラジオにも多数出演。

1985.91年 訪米し演奏。中でも85年「東京都ニューヨーク市姉妹都市提携25周年記念カーネギー・ホール公演」での独唱は、NYタイムズ紙上等で高く評価された。

1994年「天皇陛下御還暦奉祝会」（宮内庁講堂）でのリサイタルで御前演奏。

1999年「天皇陛下御即位十年奉祝記念式典」（皇居前広場）にて国歌独唱。

著書に『これでいいのか、にっぽんのうた』『演歌』のススメ』（以上、文春新書）、教則CD『日本のうた歌唱法1,2』があるほか、『日本の唱歌』『日本の童謡』などの編集及び楽譜校訂を手掛け、日本の歌の第一人者として執筆と演奏を活動の両輪としている。

2007年「藍川式呼吸法」を軸とする『藍川メソッド』出版。学校教師や音楽講師を対象とする講習会を行なうほか、介護の現場でも活用され好評を博している。

2009年には、日本予防医学会「公開シンポジウム」（千葉大学）で講演、演奏を行なう。

2012年2月「道南自立生活支援センター設立記念『音楽療法講座』」（七飯町）で講演。

現在、36枚のソロアルバムをリリースしている他、共演CDも多い。



学術博士・声楽家

○調査報告と課題提案

「住み慣れた地域で暮らすための福祉サービスは知られているのか」

北星学園大学社会福祉学部教授 杉岡 直人

○調査報告と課題提案

「北海道における小規模多機能型居宅介護事業所の現状」

札幌国際大学短期大学部教授 永田志津子